

Flower Data

ナス科ペチュニア属／一年草
【開花時期】4～10月
【その他】花径:3～5cm
草丈:15～25cm



植え込み準備

用土、鉢、元肥、追肥(液体肥料)を準備！

- 【用土】新しい土を使いましょう。ナス科の植物は連作障害が出ますので、過去三年の間にナス科の植物が植わっていた土に植えないでください。プランターであっても同じ土にそのまま植えると成長しませんので注意が必要です。
また古い土の場合、病原菌などが残っている場合がありますので、市販の培養土を準備して新しい土で植えてください。
- 【鉢(プランター)】サフィニアをプランターに植え込む場合の株数の目安は、30cm直径の丸鉢プランターに1株～3株です。
- 【元肥、追肥(液体肥料)】市販の肥料を準備しましょう。花をたくさん咲かせるためには欠かせません。植込み時には直径30cmのプランターに置き肥として元肥を5粒混ぜ込みましょう。
※お手持ちの肥料に記載されている肥料の使用方法、濃度、頻度を参考にしてください。

植え込み直後

置き場所、水やり、肥料について

- 管理は日当りのよい屋外で。
- 植え込んだら先ず鉢底から流れるくらいに水を与えてください。その後は、表面の土が乾いたら株元にたっぷりと同様の水やりを。
- 追肥は植え込み後1週間くらい経ってから、市販の液肥を週1～2回のペースで定期的に欠かさずやってください。

その他

株元をキレイにして全体を美しく！

- サフィニアブーケは大胆な切り戻しは必要ありません。草姿が乱ってきたなと感じたら、形を整える程度に切り戻しましょう。切り戻すことで、枝先だけでなく株元の芽が伸びて、さらに株のボリューム感が増します。古い葉や黄化した葉、新芽を覆うほどの大きな葉を摘み取り、株元にもしっかりと光と風を通して株元の新芽の動きを活発にさせましょう。
- 梅雨から夏の多湿の時期は株元がとても蒸れやすくなります。枯れた葉や古い葉、花がらをこまめに摘み取り、株元を清潔にします。また、蒸れ防止のために梅雨時に1回、8月末までにもう1回、タイミングを見て切り戻すと効果的です。

栽培の過程でご不明な点やお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

サントリーフラワーズお客様センター

電話番号:0570-550-087

(平日10:00～17:00 土・日・祝日休)

メールによるお問い合わせ info@suntoryflowers.co.jp

サントリーフラワーズホームページ <http://suntory.jp/FLOWER/>